
ドラえもん さようならのび太くん

ソフィア

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ドラえもん わようならのび太くん

【Zマーク】

Z53890

【作者名】

ソフィア

【あらすじ】

ドラえもんのパラレルストーリー

いつもと変わらぬ
午後の昼下がり
相変わらず
ジャイアンとスネ夫に
いじめられて
泣きべそかいて
帰ってきた。

のび太「ドラえもーん」

しかし、ドラえもんは、いつものか様子が違った

のび太「ドラえもん、ドラえもん。どうしたんだよ」

「ドラえもん」「うひ

のび太「ちゅうと待つて。今、デリバリーを連れてくる」

のび太は、タイムマシンへドゥーン世纪に行き

デリバリヤんに事の次第を報告した

デリバリヤさんせ、急いで、21世纪の

野比家へ

かると瓶つかのあまり

丸くなつてゐるデリバリヤもんがいた

デリバリヤと「お兄ちゃん」と「つかつして」

のび太「デリバリヤん早く」

「お医者さんかばん」
「お医者さんかばん」

のび太「よし」

のび太は、お医者さんかばんを使えばまた
いつものように
笑顔で話を聞いてくれる
大親友が戻つてくると
信じていた

しかし、

「お医者さんかばんは、なんでも治せるはずだよ」

のび太「な、なんでも、お医者さんかばんは、なんでも治せるはずだよ」

「ちやん」「Hラー」が出てる。Hラー＝新種の病気または、助からない病気」

のび太「嘘だい。機会の故障だあ。」

のび太は、溢れ出す涙をこらえて、必死で
嘘、嘘、嘘だと
壊れた、ディスクのように叫び続けた

「ちやん」とにかく22世紀の、大学病院に連れてくわ」

のび太「僕もいく。」

のび太と

ドリミは、22世紀大学病院へ

そして

医師が口を開いた

医師「残念だが、彼は助からない。ロボットだけがかかる病、人間特有の病、ガンの10倍のウイルス。ロボットのガンに犯されている。持つてあと1週間から10日だ。末期だよ」

セワシ「ちやんちやんお兄ちやん

セワシ「ドラえもん

のび太「嘘だ。」

のび太は、まだ嘘だと
嘘だと言い続けていた

医師「痛み止めを使いました。意識は、戻ると思つ」

「ドラえもん」の、のび太くん

のび太「ドラえもん。」

「ドラえもん」「うん。」

のび太「病院さ。ドラえもん風邪だつてさ。まつたぐ。早く治せよ

「ドラえもん」「うん。」

ドラえもんは、どいか哀しげな表情で返事をした

そして、のび太は、決心した

「ドラえもんと最後の7日を過ごす」と

「ドラえもんは、帰^{モモ}の許可を受け

21世紀の野比家に。

そして、のび太とドラえもんの7日間がはじまった

野球して
お風呂に入つて
ラジコンで遊んで
マンガ読んで
テレビ見て
いろいろした

無常にも

1日、また1日と時が過ぎていく

「ドラえもん」「のび太くん。 ありがとうね。今まで、本当にありがと

「う。」

のび太「なんだよ。いきなり。」

ドラえもん「いいんだ。わかつてたんだ。」

のび太「嫌だ、絶対、絶対ドラえもんは、あげない。たとえ、閻魔様に、さかつらっても、世界、いや宇宙を敵にまわしても。親友だけは、絶対、絶対」

ドラえもん「のび太くん、僕、忘れないから。のび太くんって言つ、生涯でイチバン大切な親友を。そしていつも傍にいるから」

のび太「おい。死なせない、絶対。ドラえもん。お願ひ。この、物体保存機に入つて。この中なら、何百年でも、そのままを維持できる。ドラえもんのままでいられる。」

ドラえもん「のび太くんに答えてあげれる最後のお願いだよ。わか

つた。のび太くん。ありがとう。ありがとうのび太くん。君を忘れない。」

20年後

のび太29歳

助手「博士。ついにですね」

のび太は、博士になっていた

それは、平成のアインシュタインと呼ばれるほどの有名ぶりだ

のび太「ドラえもん、逢えるね」

そして、物体保存機から
ドラえもんが出され

ドラえもんが目を開けた

ドラえもん「のび太くん。宿題まだだろ」

完

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5389o/>

ドラえもん さようならのび太くん

2010年10月27日11時01分発行